

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば



「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」
ヨハネによる福音書3章16aより

教会学校礼拝プログラム

2025年 6月29日

前奏
*賛美

「ふしぎなかぜが」 こどもさんびか改訂版 94

お祈り

天の父なる神様、新しい朝をありがとうございます。あなたが私たちにくださった御言葉によって、新しい一週間が支えられ強められて歩めますように導いて下さい。これから暑い日が続きます。どうぞ一人ひとりの健康をお守り下さい。世界は大変混乱の中にあります。世界が一日も早く平和になりますように祈ります。このお祈りをイエス様のお名前によってお献げいたします。

アーメン

聖書
交読詩編

ヨハネによる福音書6章52節～59節 新約聖書 p. 173

交読詩編 (19) 詩編139 こどもさんびか改訂版 p. 210

説教

「私が命のパンです」

昔イスラエルの民がエジプトから逃げてモーセと旅をした時に、天から降って来たマナ（というパン）で空腹を満たすことができましたね。しかし、そのパンを食べた人たちは、その時は助かったが死んでしまった。イエス様はご自分を「命のパン」だと言われます。このパンは食べてもならず飢えることがない永遠の命が与えられると言われるのです。このパンとはいったいどんなパンなのでしょうか？ 私たちも頂くことが出来るのでしょうか…。キリスト者は、このパンを頂く事で、喜びと慰めと励ましの中を歩むことができるのです。

暗唱聖句

このパンを食べる者は永遠に生きる (ヨハネによる福音書6章58節c)

黙想タイム

*賛美

「聖霊にわたしを」

献金と感謝のお祈り 24-1

*主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあげさせたまえ。御国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

お知らせ

- 教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおさげしましょう。
- 次週より、サマーキャンプの主題である「神さまに選ばれたダビデ」のお話となります。キャンプに行かれない人たちと一緒に楽しい学びをしましょう。
- 次週は7月のお誕生日会があります。楽しみですね。

*賛美

36 いまでかけよう

*祝福

八木 浩史 牧師

*後奏

<せいしょ>

52 それで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を我々に与えて食べさせることができるのか」と言っ
て、互いに議論し合った。53 イエスは言われた。「よくよく言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなけれ
ば、あなたがたの内に命はない。54 私の肉を食べ、私の血を飲む者は、永遠の命を得、私はその人を終わりの
日に復活させる。55 私の肉はまことの食べ物、私の血はまことの飲み物だからである。56 私の肉を食べ、私
の血を飲む者は、私の内にとどまり、私もその人の内にとどまる。57 生ける父が私をお遣わしになり、私が父
によって生きるように、私を食べる者も私によって生きる。58 これは天から降って来たパンである。先祖たち
が食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は永遠に生きる。」59 これらは、イエスがカ
ファルナウムの会堂で教えていたときに話されたことである。

<さんび>

ふしぎなかぜが

1. ふしぎなかぜが びゅうっとふけば
なんだかゆうきがわいてくる
イエスさまの おまもりがきつとあるよ
それがせいいいのはたらきです
主イエスのめぐみは あのかぜとともに
2. ふしぎなかぜが びゅうっとふけば
いろんなことばのひとたちも
そのひから ともだちに きつとなれる
それがきょうかいのはじまりです
せかいのへいわも あのかぜとともに
3. ふしぎなかぜが びゅうっとふいて
こころのなかまでつよめられ
かみさまのこどもに きつとなれる
それがあたらしいまいにちです
わたしのいのちも あのかぜとともに



せいれい わたし 聖霊に私を

せいいいにわたしを ゆだねますいま
みこころにわたしを みちびいてください
つばさをひろげ かぜにのるとりのように
みこころのおおぞらを たかくまいたい
しゆのあいこたえるため あたらしくつくりかえて
あなたのあついおもいで もやしつづけてください

